



ねんせい ほういゅう
5年生が、サツキマスの放流をしました。

R 2・11・2

5年生が天竜川に出掛け、サツキマスの放流をしました。総合的な学習の時間の一環として、「環境」を視点に取り組む学習の一つです。自然破壊の声は、これまで誰もが耳にする言葉ですが、具体的にどんな現状にあるのかは、なかなか理解しにくいものです。子供たちには、そんな実態を身近に感じると共に、自分たちでも自然を守る取組みができることを実感してほしい……。そんな願いから生まれた学習です。

サツキマスは、以前は天竜川に多く生息していたようです。しかし、水質汚染、乱獲等様々な環境の悪化が、彼らの生息を脅かし、現在ではほとんど下流地域では見られなくなってしまうようです。そこで、水質浄化はもとより少しでも子孫を増やしたらと子供たちが、成魚を放流し今後の産卵に期待をかけました。また、この後には、卵を育ててふ化させ、育った稚魚をまた、放流する取組みも行う予定です。

この学習を実施するにあたっては、天竜川漁業組合やサツキマスを守る会の方から温かい支援をいただいています。学校だけでは難しい学びを、地域の方々の手によって実現できることに感謝の気持ちでいっぱいです。



サツキマスを守る活動をなさっている方から、生態についてお話を伺いました。

放流するサツキマスの飼い主のようになっている子ども、少なくなかったです。

・・・校長より・・・